

## 中間処理業者

### ガラスリソーシング

### 東洋一の選別ライン

ガラスリソーシング ラベル剥離して丸ごと(本社・千葉県銚子市、伊藤憲一会長)の「成田支店・成田工場」(同県成田市)は処理能力

1日当たり約2600トという国内最大級の混合飲料容器自動選別ラインを持つ。2020年からは、B棟で選別したPETボトルを

回収した後、自動選別機も剥離したラベルの飛散による掃除を減らせるような改善に取り組み、流れになってい

C棟では、B棟で選別したPETボトルを圧縮し、ラベルを剥離してから、ボトルをシャワーリングで洗浄する。その後、光学式選別機に通して透明なPETボトルだけを選別し、Tボトルだけを選別し、好気処理で河川放流できる水質にまで処理する。昨年8月には、排気処理で発生する嫌気処理で発生するバイオガスで発電する。飲料容器中の飲み残りやボトル洗浄で発生する洗浄水を処理するための大型排水処理施設では排水を第1段階の嫌気処理で発生するバイオガスで発電する。第2段階の好気処理で河川放流できる水質にまで処理する。昨年8月には、排水処理設備を活用して、廃棄飲料(廃酸、廃アルカリ)などを処理する中間処理業許可も取得した。



東洋一の規模を有する選別ライン(ガラスリソーシング)